



笠小だより

学校教育目標 ○学ぶ ○ふれあう ○きたえる

学 校 だ よ り N o 5

令 和 3 年 8 月 3 0 日

鴻 巣 市 立 笠 原 小 学 校

T E L 5 4 1 - 1 6 6 1



実りの秋に向けて！

校 長 林 義 典

40日間の長い夏休みが終わり、元気な子供たちが学校に戻ってきました。一学期に、学校応援団の大野さんご夫婦のご指導のもと5年生によって手植え（左上写真参照）されたお米の苗が、夏の日差しを浴びて大きく成長しました。子供たちもコロナ感染等に注意しながら、「どうすれば楽しく充実するか」を考え、それぞれが工夫しながら夏休みを過ごし、心も体も成長したことと思います。本県におきましても8月2日に3度目の緊急事態宣言が発令され、現在も進行中ですが、保護者の方、地域の方のご支援・見守り等のおかげでこの夏休み中、コロナ感染「0」、そして、大きな怪我や事故も「0」であったことに感謝申し上げます。また、長寿会の方々には、夏休みに入って直ぐの7月22日（木）、予定されていた8月末の親子除草（緊急事態宣言のため中止）が、少しでも楽になるようにとのご厚意で除草をしていただきましたことに併せて感謝申し上げます。

さて、夏休みとともに開幕した東京オリンピック・パラリンピックは、感染拡大防止の観点から残念ながら一部を除いた多くの会場で無観客での実施となりました。現在、パラリンピックの競技が連日放送されています。多くの方が、ステイホームでテレビ観戦されたことと思います。この一大イベントに対しては様々な考えや意見がありますが、4年に一度、今大会は5年ぶりに開催され、各競技種目における世界のトップアスリートの真剣勝負は、改めて見るもの多くに感動と勇気を与えてくれるものだと感じました。各競技種目でメダルを獲得し世界のトップとなったアスリートが大きく報道されますが、この日のために鍛錬を重ね自分の全力を出し切ろうとする姿は、「子供たちを本気にする」という点で、教育に携わる私たちが目指したい究極の姿であると改めて感じました。この他にも、競技後のインタビューの中で、多くのアスリートが語っていたコーチや家族などのサポートや応援に対しての感謝や、惜しくも敗れた選手の「負けをしっかりと認めたい」という潔さ、勝った選手の「これで終わりでない。さらに磨いていきたい」という向上心など勝負後の姿にも学ぶべきものがたくさんありました。

本日よりスタートする2学期は授業日数が一番多く、鴻巣中央小学校との交流活動を兼ねた校外学習、音楽会、持久走大会などの行事が予定されています。本校では、これらの様々な行事や日々の一時間一時間の授業において、子供たちを如何に「本気」にするかを大切に、引き続き新型コロナウイルス感染防止に努め、本校最後の実りの秋に向け教育活動を充実させてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き本校の教育活動に対して、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。